

# 沙羅の樹文庫だより



大室山と富士  
重なって見える場所があるのですね。  
ネットからお借りました。

紙風船  
黒田三郎・詩  
落ちて来たら  
今度は  
もっと高く  
もっともっと高く  
何度でも  
打ち上げよう  
美しい  
願いごのように

4日月が天空高く架かっていました(14日夜)。坐  
い心地のよい椅子のように。明日は今年初の文庫。  
今年はさる年、≪三賢猿≫も、ところによっていろ  
う意味がちがうようです。わたしたちはヨーロッパ  
風に、よく見て、よく聴いて、そして、よきことはし  
かりと言いましょ! 明るい1年でありますよう。

◆2016 開館スケジュール◆

- ◆1月は通常 16日(土)17日(日)
- ◆2月は通常 20日(土)21日(日)
- ◆3月は通常 19日(土)20日(日)
- ◆4月は通常 16日(土)17日(日)
- ◆5月は14日(土)~20日(日) (ア  
ートフェスティバル参加)
- ◆6月は通常 18日(土)19日(日)

文庫の時間  
土曜日は午後2時~5時  
日曜日は午前10時~午後3時

◆子どものための  
小さなおはなし会  
毎月開館日の日曜 10:30~11:00

★おはなし沙羅の勉強会★  
毎月開館日(土) 11:00~13:00



一度でいいから、大室山から翔んでみたかった!!

沙羅の樹文庫 大室高原7-122  
0557-51-3737  
<http://saranokibunko.com>

文庫あれこれ◆謹賀新年&寒中お見舞い申しあげます。本年も文庫に見えるみなさまが息災で、充実した日々を過ごせますよう、お祈りいたします(決まり切った挨拶で恐縮です)。◆昨年は年女でしたが、思い返してもさほど良いことがあったとは思えず、今年は夫さんが年男ですので、彼に期待したいと思えます。当方、とにかく、健康でありたい(覇気を持って動きたい)、です。◆でも、年をとるということの意味がしみじみとわかるようになってきました。もう新しいことに挑戦しないで、自分の身の丈にあった活動をしなればいけないということも。ちょっと淋しいことですが、今からは、優先順位をつけて・・・。◆12月に文庫から新刊を3冊借りてゆきましたが、読めたのは1冊。新しい本や逃したおすすめ本(書評家の)など読みたいと思って購入するのですが、自分はなかなか読めません。◆10年誌でみなさんからたくさん本の感想を読ませていただくのを楽しみにしております。◆3行感想でも結構です。名無しでも結構です。この本でいっとき、おかしかった、心にしみだ、ほっこりした、と、お寄せください。たくさんのお寄せお待ちしております。◆1月は介護施設3つに出かけました。場所によって、そこにおいでの方の健康状態によって違って来るのですが、眠っていたり下を向いていらっしゃる方が、私たちの読む声にはっと引き寄せられて絵本に見入る時、いま、この方は心が動いたのだな、と嬉しくなります。◆これからも気に入っていた本を少しでも揃えたいと思います。本年もよろしくお祈りいたします。◆また、引き続き、駐車の際は周囲の迷惑にならないようご配慮くださるようお願いいたします。※文庫便りを作った後、データの形式が壊れました。何とか必要部分だけ印刷してお届けします。(西村)

## 2016年1月に読んだ本についての感想 2016.1.15 By 森林浴

『戦争が遺したものー鶴見俊輔に戦後世代が聞く』(鶴見俊輔・上野千鶴子・小熊英二著 新曜社刊 2011年2月第8版) (初版 2004年)

本書は11年前の2004年に、小熊英二が上野千鶴子と図って、鶴見俊輔が生きているうちに聴いておこうと計画して、京大の施設や料理屋などで実施したヒヤリングの記録である。鶴見俊輔はそれから11年さらに生き延びて昨年2015年7月に死去した。小熊は大著『<民主>と<愛国>』を書いて、最近の研究者の中で頭抜けた勉強家であることを示した(この本は文庫にあります。私は何時だったか思い出せないのですが文庫の感想文にこの本のことを書いた記憶があります)が、永年鶴見と接触があった上野のお膳立てでこのヒヤリングが成立した。鶴見の生い立ち・戦中体験から始まって、終戦後の活動、60年安保・全共闘・ペ平連まで貴重な記録が生まれた。父が著名な政治家、鶴見祐輔で、母方の祖父が後藤新平という名門に生まれたが、15歳で渡米して米国のハーバード大学に入学するまでの彼はなんと礼付きの不良少年だった。これは2~3歳の頃から、母親に折檻ばかり受けるということと如何なる関係があるのか、それがどうもよく理解できない一私には母親が厳しすぎたようにも思えるのですが。(2013年5月の文庫の感想文に鶴見の本『再読』についての感想文を書いているのですがこれもすっかり忘れていました)内容は登場する綺羅星のような有名人や、歴史に残る大事件の話ばかりで、実に面白い。

上野が(特に女性関係などで)鶴見をおちよくっているのもおかし。

『空海』(高村 薫 著 新潮社刊 2015年9月第1版)

空海という大きな存在が前から気になっていたが、具体的には何にも知らないという状態だったので、この本にチャレンジしてみた。著者の小説は直木賞受賞した「マークスの山」がとても面白かった記憶があるが、その後はあまり読んでいない。この本は、共同通信社が多くの方の地方新聞向けに配信した連載「21世紀の空海」に加筆修正したものということ、道徳で裏い取材協力者と取材力があるわけで、高村さん一人ではとてもこんな膨大な情報が集められるわけではないし、また写真が多くて親しみ易い構成である理由もわかりました。空海はなにしろ8世紀から9世紀に活躍した人で、1200年以上の昔の人ですから、良く分からない事項も多いようだ。歴史的にみると、空海の真言密教は、12世紀から13世紀にかけて、天台宗から民衆に受け入れられやすい形をとって拵がった法然の浄土宗・親鸞の浄土真宗・栄西の臨済宗・道元の曹洞宗・日蓮の日蓮宗・一蓮の時宗などに遅れを取った感が否めないと思われる。ただし一方で空海の開いた高野山はいまや外人観光客までが押しかける観光地まがいの隆盛であるし、空海の足跡をたどる四国88か所ご遍路巡りは人が絶えることがないという皮肉な状態になっている。しかし空海が一番心血を注いだ真言密教の本筋はやや忘れ去られ、浮き上がってしまっているとも考えられるようだ。

※ほかに文庫には、こんな空海の本があります。  
『空海の風景 上・下』(司馬遼太郎著 中公文庫) ID8041,2  
『沙門空海唐の国にて鬼と宴す 巻1~4』(夢枕漢著 徳間書店) ID5064~7  
『空海』(梅田紀代志作 PHP 研究所) ID4731(児童書)

『第二次世界大戦 1939-45 上・中・下三巻』アントニー・ビーヴァー著 平賀秀明訳 白水社刊 2015年9月第4版

これは素晴らしい本だ。著者は英国の戦史ノンフィクション作家。上・中・下3冊いずれも500頁を超す大部の本。中・下巻はまだ読みの途上です。  
※ぜひ読了して感想をお聞かせください。(さ・ら)

2015年沙羅の樹文庫  
クリスマスおはなし会風景



## 16年1月に入った子どもの本

### 絵本

『ヨクネルとひな』(LEE 文 酒井駒子絵 ブロンズ新社 2015) ID11842  
 『いっぼんの木のそばで』(G.ブライアン・カラス 作 いしづちひろ訳 BL出版 2015)ID11851  
 『もりくいクジラ』(川村たかし作 赤羽末吉絵 実業の日本社) ID11852  
 『おそとがきえた!』(角野栄子文 市川里美絵 偕成社 2009) ID11914  
 『おもいついたらそのときに!』(西内ミナミ作 にしまきかやこ画 こくま社) ID11913  
 『しあわせなふくろう』(ホイテマぶん チェレスチーノ・ピヤッチェ おおつかゆうぞうやく 福音館書店) ID11912

### 読み物

『さかさ町』(F. エマーソン・アンドリュウズ作 ルイス・スロボドキン絵 小宮由訳 岩波書店 2015) ID11843  
 『どろぼうのどろぼん』(斉藤倫作 福音館書店 2015) ID11845  
 『白をつなぐ』(まはら三桃作 小学館 2015)ID11846

### 作家伝記

『エルマーのぼうけん』をかいた女性—ルース・S・ガーネット』(前沢明枝作 福音館書店 2015) ID11844

### 紙芝居

『ゆきおんな』(桜井信夫脚本 蓑田源二郎絵 童

心社)ID11911

『まほうのふで』(川崎大治脚本 二俣英五郎絵 童心社)ID11850  
 『サンボじいさんのいし』(さえぐさひろこ脚本 降矢洋子絵 童心社)ID11849

## 広瀬おばさんから 2016-1

### 絵本

『リュックちゃんです。』(とよたかずひこ作 童心社 2015) ID11870  
 『まくらちゃんです。』(とよたかずひこ作 童心社 2015) ID11871  
 『おつきみおばけ』(せなけいこ作 ポプラ社 2013) ID11872  
 『しましましまうま』(かわむらおさむ作 童心社) ID11873  
 『おやすみ』(ふじわらこういちしゃしん・ぶん 新日本出版社 2015) ID11874  
 『わかるかな』(ふじわらこういちしゃしん・ぶん 新日本出版社 2015) ID11875  
 『たったた』(ふじわらこういちしゃしん・ぶん 新日本出版社 2015) ID11876  
 『ママなんさい』(越智あやこ文 丸山誠司絵 絵本館 2015) ID11877  
 『このパンなにパン?』(ふじもとのりこ作・絵 すずき出版 2015) ID11878  
 『だれかさ』(内田麟太郎文 今森光彦切り絵) ID11879  
 『りんごがひとつ』(いわむらかずお作 童心社)

ID11880

『シロクマゆうびんきょく』(木島誠悟作 ポプラ社 2015) ID11881  
 『みんなのくまこまパン』(西村敏雄作 あかね書房 2015) ID11882  
 『ねねのねこ』(おおなり修司文 北村裕香絵 絵本館 2015) ID11883  
 『わたしのひみつ』(石津ちひろ作 きくちちき絵 童心社 2014) ID11884  
 『カエルくんのたんこぶ』(宮西達也作・絵 すずき出版 2015) ID11885  
 『さげがよんひき』(最上一平作 喜湯本のづみ絵 2015) ID11886  
 『あひる』(石川えりこ作 くもん出版 2015) ID11887  
 『まあちゃんとりすのふゆじたく』(かとうまふみ作 アリス館 2015) ID11888  
 『よるです』(ザ・キャビンカンパニー作・絵 偕成社 2014) ID11892  
 『絵本ゆりひめ』(ひめゆり平和祈念資料館文 三田圭介絵 沖縄県女師・一高女ひめゆり平和祈念資料館 2011) ID11889  
 『にしきのなかの馬』(やえがしなおこ作 つかさおさむ絵 童心社 2015) ID11890  
 『しろくまくんどこにいく?』(ソフィー・ヘン作・絵 二宮由紀子訳 徳間書店 2015) ID11894  
 『ともだちになろう』(ミース・ファン・ハウトさく ほんまひろやく 西村書店 2015) ID11893  
 『サムとティフ、あなをほる』(マック・バーネット文 ジョン・クラッセン絵 なかがわちひろ訳 あすなる書房 2015) ID11891

『おしゃなクララとおばあちゃんのぼうし』(エイミー・デ・ラ・ハイ文 エミリー・サットン絵 たかおゆうこ訳 徳間書店 2015) ID11895



## 16年1月に入ったおとなの本

### フィクション

『A ではない君と』(薬丸岳著 講談社 2015) ID16471  
 『砂浜に坐り込んだ船』(池澤夏樹著 新潮社 2015) ID16472  
 『天平の女帝 孝謙称徳』(玉岡かおる著 新潮社 2015) ID16473  
 『ロゴスの市』(乙川優三郎著 徳間書店 2015) ID16487  
 『ひりつく夜の音』(小野寺史宜著 新潮社 2015) ID16493  
 『世界の果てのこどもたち』(中脇初枝著 講談社 2015) ID16494  
 『坂の上の途中の家』(角田光代著 朝日新聞出版 2016) ID  
 『わかれ』(瀬戸内寂聴著 新潮社 2015) ID16503  
 『下町ロケット 2』(池井戸潤著 小学館 2015)ID16506※request  
 『迷子たちの街』(モティアノ著 平中悠一訳 作品社 2015) ID16479  
 『亡き王女のためのパヴァーヌ』(パク・ミンギユ

著 吉原育子訳 クオン 2015) ID16478  
 『出島の千の秋 上・下』(デイヴィッド・ミッチェル著 河出書房新社 2015) ID16481~2  
 『世界収束家』(イリヤ・トロヤノフ著 浅井晶子訳 早川書房 2015) ID16484  
 『13歳のホロコースト』(エヴァ・スローニム著 那波かおり訳 亜紀書房 2015) ID16483  
 『優しい鬼』(レアード・ハント著 柴田元幸訳 朝日新聞出版 2015) ID16491  
 『氷 (3部作 2)』(ウラジミール・ソローキン著 河出書房新社 2015) ID16492  
 『嵐』(ル・クレジオ著 中地義和訳 作品社 2015) ID16504  
 『スカラ座の思い出』(エンリコ・ミネッティ著 スタイルノート 2015) ID16501  
 ※request

### 詩・エッセイほか

『詩のなぐさめ』(池澤夏樹著 岩波書店 2015) ID16474  
 『古今周遊』(中村稔著 青土社 2015) ID16477  
 『罪と罰』(岸本佐知子、三浦しをん、吉田篤弘、吉田浩美著 文藝春秋 2015) ID16486

### ノンフィクション

『戦後につぼんの記憶』(橋本五郎編 読売新聞取材班著 中央公論新社 2015)ID16500※request  
 『ギリシア人の物語 1』(塩野七生著 新潮社 2015)ID16509  
 『美麗島紀行』(乃南アサ著 集英社 2015) ID16505

『写真集 花のある遠景』(西江雅之著 左右社 2015) ID16495  
 『原発暴走列島』(鎌田慧著 アストラ 2011) ID16488  
 『死はこわくない』(立花隆著 文藝春秋 2015) ID16475  
 『おひとりさまの最期』(上野千鶴子著 朝日新聞出版 2015) ID16476  
 『老後破産—長寿という悪夢』(NHKスペシャル取材班著 新潮社 2015)ID16507

### 新書

『ヘイトスピーチ—愛国者たちの憎悪と暴力』(安田浩一著 文春新書 2015) ID16489  
 『遺骨—戦没者310万人の戦後史』(栗原俊雄著 岩波新書 2015) ID16490

### 文庫

『わたしがいなかった街で』(柴崎友香著 新潮文庫 2014) ID16480  
 『望郷』(森瑤子著 角川文庫 2014 改訂再版)ID16497※ニッカウィスキー創始者夫婦の伝記小説  
 『望郷』(湊かなえ著 文春文庫 2014)ID16498  
 『名もなき日々を』(宇江佐真理著 文春文庫 2016)ID16496  
 『勇者たちへの伝言』(増山実著 ハルキ文庫 2015)ID16508  
 『さよならは小さい声で』(松浦弥太郎著 PHP文庫 2016)ID16499

